



2020年8月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月7日

上場会社名 株式会社 トーセ
 コード番号 4728 URL <https://www.tose.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 康人

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務管理部長 (氏名) 中川 尚樹

TEL 075-342-2525

定時株主総会開催予定日 2020年11月26日 配当支払開始予定日

2020年11月27日

有価証券報告書提出予定日 2020年11月27日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期の連結業績(2019年9月1日～2020年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期	5,635	5.3	365	0.6	387	4.3	227	9.1
2019年8月期	5,352	18.5	363	58.8	404	51.1	250	32.7

(注) 包括利益 2020年8月期 254百万円 (13.8%) 2019年8月期 223百万円 (20.0%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年8月期	30.00		3.8	5.4	6.5
2019年8月期	32.98		4.2	5.7	6.8

(参考) 持分法投資損益 2020年8月期 百万円 2019年8月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年8月期	7,039	6,023	85.0	789.02
2019年8月期	7,238	5,943	81.8	780.70

(参考) 自己資本 2020年8月期 5,980百万円 2019年8月期 5,917百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年8月期	213	360	189	1,022
2019年8月期	323	248	189	645

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年8月期		12.50		12.50	25.00	189	75.8	3.2
2020年8月期		12.50		12.50	25.00	189	83.3	3.2
2021年8月期(予想)		12.50		12.50	25.00		116.6	

3. 2021年8月期の連結業績予想(2020年9月1日～2021年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,401	10.0	44	60.7	56	59.7	29	60.9	3.83
通期	5,215	7.4	250	31.4	274	29.2	162	28.5	21.44

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年8月期	7,763,040 株	2019年8月期	7,763,040 株
期末自己株式数	2020年8月期	183,080 株	2019年8月期	182,960 株
期中平均株式数	2020年8月期	7,580,054 株	2019年8月期	7,580,171 株

(参考)個別業績の概要

2020年8月期の個別業績(2019年9月1日～2020年8月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期	5,349	6.0	333	19.9	349	18.7	178	35.8
2019年8月期	5,048	18.2	416	32.3	429	41.6	277	23.1

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期	23.53	
2019年8月期	36.67	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
2020年8月期	6,833		5,858		85.4	769.50		
2019年8月期	7,092		5,824		82.0	766.88		

(参考) 自己資本 2020年8月期 5,832百万円 2019年8月期 5,813百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2020年10月22日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容(音声)については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、当初、雇用・所得環境の改善などを背景に、緩やかな回復基調で推移していましたが、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動の停滞・縮小に伴い、景気が急速に悪化しており、さらなる景気の下振れが懸念されるなど、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く事業環境は、新型コロナウイルス感染症による巣ごもり消費の影響に伴い、ゲームの需要が高まるとともに、ダウンロード販売の増加が進んだことから、2020年上半期の国内家庭用ゲーム市場規模は、ハードが793.4億円、ソフトが954.7億円、ハード・ソフト合計で1,748.1億円となり、上半期としては2012年以降で最大の規模となりました(ファミ通調べ)。また、スマホゲーム市場でも、新型コロナウイルス感染症の影響により、世界的にダウンロード数が急増しました。

このような状況のもと、当社グループでは、中長期的な企業価値と資本効率の向上に向けて、中期経営ビジョンに基づき、重点施策として①事業環境の変化に柔軟に対応できる組織体制の強化、②積極的な人材投資、③グローバル体制の基盤づくりに取り組んでまいりました。また、次世代ゲーム機への対応に取り組む中、新型コロナウイルス感染症への対策に伴い、開発業務の負荷が高まる面が発生しました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は、主にデジタルエンタテインメント事業において運営を受託しているスマートフォン向けゲームの運営規模が顧客の要望により当初の想定よりも大きくなったことに伴い、スマートフォン向けゲームの運営売上が好調に推移したことや、その他事業においてSI事業が引き続き顧客ロイヤリティの向上に努めたことにより、既存顧客からの案件が増加した結果、56億35百万円(前連結会計年度比5.3%増)となりました。

利益面につきましては、営業利益は3億65百万円(前連結会計年度比0.6%増)となりました。一方で、経常利益は3億87百万円(前連結会計年度比4.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は2億27百万円(前連結会計年度比9.1%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

①デジタルエンタテインメント事業

当事業におきましては、ゲームを中心とするデジタルコンテンツの企画・開発・運営などの受託を行っております。

当連結会計年度におきましては、今後市場に登場する次世代ゲーム機やクラウドゲームサービスに対する開発力を早期に向上させる取り組みを推進してまいりました。一方で、前連結会計年度に開発を開始し、当連結会計年度に開発が完了した複数の大型スマートフォン向けゲームが運営サービスに入り、それらの運營業務を含め、モバイルコンテンツ関連の業務がデジタルエンタテインメント事業の多くを占める形で事業を進めてまいりました。

ゲームソフト関連の売上は、当初想定どおりモバイルコンテンツ関連の案件が多く進行した結果、18億44百万円(前連結会計年度比18.8%減)となりました。

モバイルコンテンツ関連の売上は、上記1.(1)に記載のとおり、スマートフォン向けゲームの運営売上が好調に推移した結果、28億75百万円(前連結会計年度比27.0%増)となりました。

パチンコ・パチスロ関連の売上は、ゲームソフト関連やモバイルコンテンツ関連の開発需要増に対応するために、多くの開発人員をそれらに投入した結果、2億31百万円(前連結会計年度比31.5%減)となりました。

なお、開発完了タイトル数は、マルチプラットフォーム向け家庭用ゲーム1タイトル、アミューズメント向けゲーム1タイトル、スマートフォン向けゲーム3タイトルとなりました。

この結果、当事業の売上高は49億51百万円(前連結会計年度比1.6%増)となったものの、新型コロナウイルス感染症への対策に伴い、外注費などの原価が増加した結果、営業利益は3億13百万円(前連結会計年度比15.0%減)となりました。

②その他事業

当事業におきましては、SI事業、子会社の株式会社フォネックス・コミュニケーションズによる家庭用カラオケ楽曲配信事業、新規事業の創出に取り組んでおります。

当連結会計年度におきましては、上記1.(1)に記載のとおり、SI事業において引き続き顧客ロイヤリティの向上に努めた結果、ITシステムの開発案件やコンサルティング業務が増加したことや、コロナ禍による巣ごもり消費拡大に伴い、家庭用カラオケ楽曲配信事業のロイヤリティ売上が伸長した結果、当事業の売上高は6億84百万円(前連結会計年度比42.8%増)、営業利益51百万円(前連結会計年度は営業損失5百万円)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産残高は、前連結会計年度末と比較して1億98百万円減少し、70億39百万円となりました。資産の部におきましては、有価証券、仕掛品が増加したものの、現金及び預金、売掛金などが減少したことにより、流動資産が34百万円減少しております。なお、償却・除却による固定資産の減少や繰延税金資産の減少などにより、固定資産が1億64百万円減少しております。

負債につきましては、未払法人税等や前受金、受注損失引当金などが減少したことにより、前連結会計年度末と比較して2億78百万円減少し、10億15百万円となりました。

純資産につきましては、配当金の支払いに伴う減少があったものの当期純利益の計上により利益剰余金が増加したこと及びその他有価証券評価差額金の変動したことなどにより、前連結会計年度末と比較して79百万円増加し、60億23百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して3億76百万円増加し、10億22百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、2億13百万円(前連結会計年度は3億23百万円の資金使用)となりました。主な内訳は、受注損失引当金の減少額87百万円、たな卸資産の増加額2億円、前受金の減少額1億2百万円などの支出があった一方で、税金等調整前当期純利益3億69百万円、売上債権の減少額3億20百万円などの収入があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により得られた資金は、3億60百万円(前連結会計年度は2億48百万円の資金獲得)となりました。主な内訳は、投資有価証券の取得による支出4億25百万円などの支出があった一方で、定期預金払戻しによる収入4億円、投資有価証券の売却による収入1億8百万円、投資有価証券の償還による収入3億56百万円などの収入があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1億89百万円(前連結会計年度は1億89百万円の資金使用)となりました。これは、配当金の支払額1億89百万円があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

家庭用ゲーム業界におきましては、2020年11月には次世代ゲーム機である「プレイステーション5」や「Xbox Series X/S」が登場するとともに、注目を集める国内クラウドゲーム市場規模が、2023年には140.3億円に急成長すると見込まれております（「ファミ通ゲーム白書2020」調べ）。今後それらに対応するタイトルの拡充に伴い、開発需要がさらに高まることが予想されます。

また、スマホゲーム市場では、高速・大容量、低遅延、多数端末との接続といった5G（第5世代移動通信システム）の特徴を生かしたモバイルゲームが登場することで、今後さらなる市場の活性化が期待されます。

そのような状況の中、各ゲームメーカーは、新しい市場への対応、開発クオリティやユーザー満足度の向上など、あらゆる面での対応力が求められております。

このような事業環境のもと、当社グループでは、新型コロナウイルス感染症への対策に取り組む中、開発需要の増大に対応するために、大規模・高度化開発に耐えうる開発体制の充実・強化に取り組んでまいります。また、引き続き人材確保・育成への投資を行い、従業員が働きやすい職場環境の整備に取り組んでまいります。

この結果、次期の連結業績予想につきましては、売上高52億15百万円（当連結会計年度比7.4%減）、営業利益2億50百万円（当連結会計年度比31.4%減）、経常利益2億74百万円（当連結会計年度比29.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益1億62百万円（当連結会計年度比28.5%減）を予定しております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、企業体質の強化と新たなビジネス分野への積極的な事業展開に備えるために内部留保資金の充実を図りつつ、株主の皆様に対し安定的な配当を維持していくことを基本方針としております。また、事業展開の節目、あるいは業績を鑑みながら記念配当、株式分割などを実施し、株主の皆様への利益還元を行ってまいります。

当期の期末配当金としては、2019年10月4日付の決算発表時に公表いたしましたとおり、1株当たり12円50銭とさせていただきます。予定であります。

なお、中間配当として1株当たり12円50銭の普通配当を支払っておりますので、年間配当は25円になる予定です。

次期の配当金は中間、期末ともに12円50銭の年間25円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成しております。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、今後の外国人株主比率及び国内他社のIFRS採用動向を踏まえ、検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当連結会計年度 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,585,045	1,562,031
売掛金	1,761,333	1,441,064
有価証券	246,172	354,806
仕掛品	265,512	465,843
その他	57,586	57,338
貸倒引当金	△1,060	△1,090
流動資産合計	3,914,590	3,879,994
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,309,767	1,298,972
減価償却累計額	△738,772	△759,525
建物及び構築物(純額)	570,995	539,447
工具、器具及び備品	322,955	235,500
減価償却累計額	△291,261	△206,440
工具、器具及び備品(純額)	31,693	29,060
土地	709,565	709,565
その他	71,773	71,252
減価償却累計額	△61,559	△64,441
その他(純額)	10,213	6,810
有形固定資産合計	1,322,466	1,284,883
無形固定資産		
ソフトウェア	53,422	39,590
電話加入権	2,135	2,135
無形固定資産合計	55,557	41,725
投資その他の資産		
投資有価証券	678,662	608,439
退職給付に係る資産	27,451	31,827
繰延税金資産	92,022	51,149
投資不動産	728,060	728,599
減価償却累計額	△92,520	△104,354
投資不動産(純額)	635,540	624,244
保険積立金	444,317	444,791
その他	67,694	72,403
投資その他の資産合計	1,945,689	1,832,855
固定資産合計	3,323,713	3,159,464
資産合計	7,238,303	7,039,458

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当連結会計年度 (2020年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	194,967	156,763
未払法人税等	130,349	34,300
前受金	143,389	40,572
賞与引当金	125,585	117,721
受注損失引当金	102,577	15,194
その他	272,387	317,097
流動負債合計	969,258	681,648
固定負債		
役員退職慰労引当金	278,778	292,678
その他	46,452	41,634
固定負債合計	325,230	334,312
負債合計	1,294,488	1,015,961
純資産の部		
株主資本		
資本金	967,000	967,000
資本剰余金	1,313,184	1,313,184
利益剰余金	3,833,889	3,871,753
自己株式	△173,177	△173,277
株主資本合計	5,940,897	5,978,660
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△21,482	9,493
為替換算調整勘定	15,160	7,038
退職給付に係る調整累計額	△16,823	△14,453
その他の包括利益累計額合計	△23,146	2,079
新株予約権	11,034	25,747
非支配株主持分	15,029	17,010
純資産合計	5,943,815	6,023,497
負債純資産合計	7,238,303	7,039,458

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
売上高	5,352,885	5,635,522
売上原価	4,062,066	4,325,224
売上総利益	1,290,818	1,310,298
販売費及び一般管理費	927,708	944,865
営業利益	363,110	365,433
営業外収益		
受取利息	9,735	6,565
受取配当金	7,354	6,146
投資有価証券評価益	119	—
不動産賃貸料	57,098	40,561
為替差益	—	2,809
雑収入	7,122	7,626
営業外収益合計	81,430	63,708
営業外費用		
支払利息	30	36
投資有価証券償還損	—	120
投資有価証券評価損	—	4,250
不動産賃貸費用	38,322	37,503
為替差損	1,580	—
営業外費用合計	39,932	41,909
経常利益	404,609	387,232
特別利益		
投資有価証券売却益	10,202	2,159
特別利益合計	10,202	2,159
特別損失		
固定資産除却損	1,699	628
投資有価証券売却損	190	—
投資有価証券償還損	—	12,794
投資有価証券評価損	—	6,596
特別損失合計	1,889	20,019
税金等調整前当期純利益	412,922	369,372
法人税、住民税及び事業税	191,364	112,143
法人税等調整額	△22,964	27,882
法人税等合計	168,400	140,025
当期純利益	244,521	229,346
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△5,495	1,981
親会社株主に帰属する当期純利益	250,017	227,365

連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
当期純利益	244,521	229,346
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,972	30,975
為替換算調整勘定	△6,576	△8,121
退職給付に係る調整額	3,637	2,370
その他の包括利益合計	△20,911	25,225
包括利益	223,610	254,571
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	229,106	252,590
非支配株主に係る包括利益	△5,495	1,981

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	967,000	1,313,184	3,773,377	△173,009	5,880,552
当期変動額					
剰余金の配当			△189,505		△189,505
親会社株主に帰属する当期純利益			250,017		250,017
自己株式の取得				△167	△167
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	60,512	△167	60,344
当期末残高	967,000	1,313,184	3,833,889	△173,177	5,940,897

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△3,510	21,737	△20,461	△2,234	—	20,525	5,898,843
当期変動額							
剰余金の配当							△189,505
親会社株主に帰属する当期純利益							250,017
自己株式の取得							△167
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△17,972	△6,576	3,637	△20,911	11,034	△5,495	△15,372
当期変動額合計	△17,972	△6,576	3,637	△20,911	11,034	△5,495	44,971
当期末残高	△21,482	15,160	△16,823	△23,146	11,034	15,029	5,943,815

当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	967,000	1,313,184	3,833,889	△173,177	5,940,897
当期変動額					
剰余金の配当			△189,501		△189,501
親会社株主に帰属する当期純利益			227,365		227,365
自己株式の取得				△100	△100
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	37,863	△100	37,763
当期末残高	967,000	1,313,184	3,871,753	△173,277	5,978,660

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	△21,482	15,160	△16,823	△23,146	11,034	15,029	5,943,815
当期変動額							
剰余金の配当							△189,501
親会社株主に帰属する当期純利益							227,365
自己株式の取得							△100
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	30,975	△8,121	2,370	25,225	14,712	1,981	41,919
当期変動額合計	30,975	△8,121	2,370	25,225	14,712	1,981	79,682
当期末残高	9,493	7,038	△14,453	2,079	25,747	17,010	6,023,497

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	412,922	369,372
減価償却費	90,871	88,905
株式報酬費用	11,034	14,712
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	30
賞与引当金の増減額(△は減少)	30,607	△7,864
受注損失引当金の増減額(△は減少)	84,381	△87,383
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	13,900	13,900
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	2,265	△959
受取利息及び受取配当金	△17,089	△12,711
支払利息	30	36
為替差損益(△は益)	3,963	132
固定資産除却損	1,699	628
投資有価証券売却損益(△は益)	△10,012	△2,159
投資有価証券償還損益(△は益)	—	12,914
投資有価証券評価損益(△は益)	△119	10,846
売上債権の増減額(△は増加)	△875,042	320,268
たな卸資産の増減額(△は増加)	△53,228	△200,330
前受金の増減額(△は減少)	66,817	△102,817
仕入債務の増減額(△は減少)	96,098	△38,203
その他	9,470	20,053
小計	△131,431	399,369
利息及び配当金の受取額	16,440	13,339
利息の支払額	△30	△36
法人税等の還付額	7,067	△214
法人税等の支払額	△215,648	△198,506
営業活動によるキャッシュ・フロー	△323,601	213,952
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	420,000	400,000
有価証券の取得による支出	—	△56,560
有形固定資産の取得による支出	△37,882	△13,866
無形固定資産の取得による支出	△20,029	△7,279
投資有価証券の取得による支出	△457,461	△425,004
投資有価証券の売却による収入	211,094	108,230
投資有価証券の償還による収入	150,000	356,560
投資不動産の取得による支出	△14,586	△539
その他	△2,875	△790
投資活動によるキャッシュ・フロー	248,258	360,749

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△167	△100
配当金の支払額	△189,441	△189,241
財務活動によるキャッシュ・フロー	△189,609	△189,342
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,554	△8,373
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△275,505	376,986
現金及び現金同等物の期首残高	920,550	645,045
現金及び現金同等物の期末残高	645,045	1,022,031

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1 連結の範囲に関する事項

① 連結子会社の数

3社

連結子会社の名称

東星軟件(杭州)有限公司

株式会社フォネックス・コミュニケーションズ

TOSE PHILIPPINES, INC.

② 非連結子会社はありません。

2 持分法の適用に関する事項

① 持分法を適用した関連会社数

持分法を適用した関連会社はありません。

② 持分法を適用しない関連会社の数

1社

会社等の名称

株式会社アルグラフ

(持分法を適用しない理由)

持分法非適用会社は、当期純損益(持分に見合う額)及び利益剰余金(持分に見合う額)等の連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であり、かつ全体として重要性がないため、持分法の適用から除外しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の分配の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループでは、「デジタルエンタテインメント事業」及び「その他事業」の2つを報告セグメントとしております。

「デジタルエンタテインメント事業」は、ゲームを中心とするデジタルコンテンツの企画・開発・運営などの受託を行っております。「その他事業」は、SI事業、子会社の株式会社フォネックス・コミュニケーションズによる家庭用カラオケ楽曲配信事業、新規事業の創出に取り組んでおります。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

事業のセグメントの利益は営業利益をベースとした数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		計	調整額 (注)1	連結 財務諸表 計上額 (注)2
	デジタルエンタ テインメント事業	その他事業			
売上高					
外部顧客への売上高	4,873,836	479,048	5,352,885	—	5,352,885
セグメント間の内部売上高 又は振替高	27,801	59,034	86,836	△86,836	—
計	4,901,637	538,083	5,439,721	△86,836	5,352,885
セグメント利益又は損失(△)	369,079	△5,968	363,110	—	363,110
セグメント資産	2,776,159	382,690	3,158,850	4,079,453	7,238,303
その他の項目(注)3					
減価償却費	72,535	6,511	79,047	11,824	90,871
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	22,088	13,290	35,378	29,230	64,608

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 売上高の△86,836千円は、セグメント間取引の消去の額であります。
 - (2) セグメント資産の4,079,453千円は、報告セグメントに配分していない全社資産であり、その主なものは、当社での余資運用資金(現金及び預金並びに有価証券)、長期投資資金(投資有価証券)、繰延税金資産、投資不動産及び管理部門に係る資産であります。
 - (3) 減価償却費の11,824千円は、投資不動産及び管理部門に係る減価償却費であります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の29,230千円は、報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。
- 3 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には長期前払費用及びその償却額が含まれています。

当連結会計年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		計	調整額 (注)1	連結 財務諸表 計上額 (注)2
	デジタルエンタ テインメント事業	その他事業			
売上高					
外部顧客への売上高	4,951,367	684,155	5,635,522	—	5,635,522
セグメント間の内部売上高 又は振替高	58,649	22,798	81,448	△81,448	—
計	5,010,016	706,954	5,716,970	△81,448	5,635,522
セグメント利益	313,638	51,794	365,433	—	365,433
セグメント資産	2,707,213	336,691	3,043,904	3,995,553	7,039,458
その他の項目(注)3					
減価償却費	67,839	9,107	76,947	11,957	88,905
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	11,936	3,964	15,900	11,810	27,711

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 売上高の△81,448千円は、セグメント間取引の消去の額であります。
 - (2) セグメント資産の3,995,553千円は、報告セグメントに配分していない全社資産であり、その主なものは、当社での余資運用資金(現金及び預金並びに有価証券)、長期投資資金(投資有価証券)、繰延税金資産、投資不動産及び管理部門に係る資産であります。
 - (3) 減価償却費の11,957千円は、投資不動産及び管理部門に係る減価償却費であります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の11,810千円は、報告セグメントに配分していない全社資産に係るもの及びセグメント間取引の消去の額であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。
 - 3 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には長期前払費用及びその償却額が含まれています。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
1株当たり純資産額	780円70銭	789円02銭
1株当たり当期純利益金額	32円98銭	30円00銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	250,017	227,365
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	250,017	227,365
普通株式の期中平均株式数(千株)	7,580	7,580
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(千株)	52	25
(うち新株予約権(千株))	(52)	(25)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度末 (2019年8月31日)	当連結会計年度末 (2020年8月31日)
純資産の部の合計額(千円)	5,943,815	6,023,497
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)		
(うち新株予約権)	(11,034)	(25,747)
(うち非支配株主持分)	(15,029)	(17,010)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	5,917,751	5,980,739
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	7,580	7,579

(重要な後発事象)

該当事項はありません。